

2026 年 10 月 9 日
西日本旅客鉄道株式会社

新型レール輸送用気動車の導入について

JR 西日本グループでは、中期経営計画 2030 において「安全・安心で人と地球にやさしい交通」や「持続可能な社会」の実現を掲げており、環境をはじめとするサステナビリティへの取り組みや、持続可能なシステムの構築に向けた施策を推進しています。

当社では、レール輸送に使用している貨車およびそれらを牽引している機関車が国鉄時代に製造された車両であり更新時期を迎えていることから、更なる安全性ならびに生産性の向上による持続可能な鉄道運行実現のため、このたび新型レール輸送用気動車を導入します。

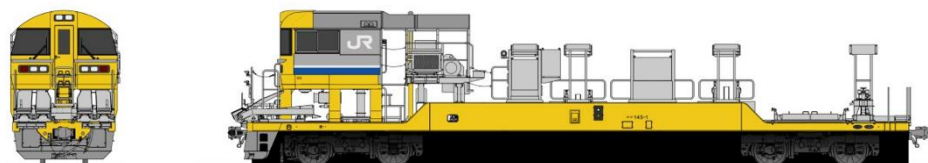
この車両は、東海旅客鉄道株式会社が開発し 2008 年に導入したレール輸送用気動車であるキヤ 97 系をベースに、当社におけるレール輸送の形態に適合する仕様としております。

1. 車両概要

形式：キヤ 145 系

輸送レール：200m・150m・50m レール

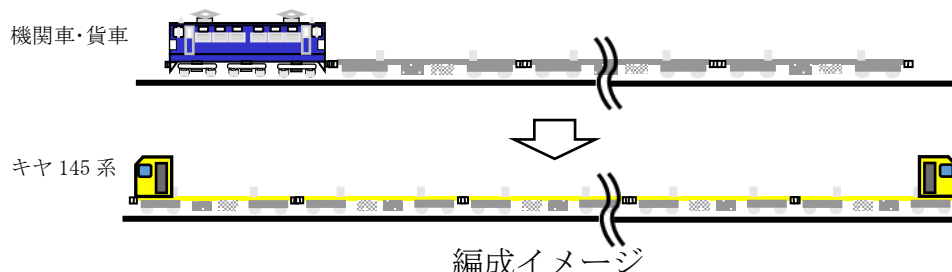
投入両数 39 両（13 両×3 編成）



エクステリアイメージ

2. 車両の特徴

- ・気動車方式を採用し、編成の両端に運転台を有する構成とすることで、従来の機関車・貨車扱いを解消し運用効率の改善が期待できます。
- ・機関車・貨車特有の保守体系や運転操縦が廃止されることで、効率的なメンテナンスや乗務員養成が可能となります。



編成イメージ

3. 導入時期

2028 年 2 月頃予定

今回ご案内の取り組みは、SDGs の 17 のゴールのうち、特に 9 番、11 番、12 番に貢献するものと考えています。



JR 西日本グループは持続可能な開発目標 (SDGs) を支援しています。

